

クレシミル・ストラジャナツツ&小川加恵 DUOリサイタル

Krešimir Stražanac

Kae
Ogawa

DUO
Recital

2021 6.11 fri【金】 19:00ライブ配信
(アーカイブ配信 ~7/11【日】 23:59)

有料ライブ配信公演

主催：サラマンカホール

M E S S A G E

視聴者の皆様

コロナ禍において世界中で行われていたほとんどのコンサートが中止にならざるをえない中、日本で視聴者の皆様にこのコンサートを通じてお会いできることは、我々にとってこの上ない喜びです。そして以前のような安心して音楽を楽しんで頂ける世界が戻ってきますことを心から願い、待ちたいと思います。

人々との身体的な距離を取らなければならない今、地球上のあらゆる人々と我々をつないでくれるものは何でしょうか—それは音楽と言えるでしょう。

今回我々はこのコンサートのプログラムに、ベートーヴェン、シューベルト、ローベルト/クララ・シューマンによって19世紀中頃に作曲された最も美しく、有名な歌曲を選びました。

また我々は、楽曲が作られた19世紀中頃に製作された歴史的なピアノ「フォルテピアノ」を使用し、当時演奏されていた演奏スタイルでこれらの曲を演奏します。

19世紀中頃に製作されたピアノは、現代のピアノに比べて多くの点でかなり異なっており、今日では聴く機会の少ない歴史的なピアノの温かく、色彩豊かな音色を楽しんで頂きたいと思います。我々を包み込むようなその音色は、あらゆるテクノロジーが発達した今日に失われてしまったもの—それは例えばまだ電気がなく食卓に蝋燭を灯していた時代のゆったりとした時間の流れや親密な人々との会話などを思い起こさせてくれるでしょう。

この美しいサラマンカホールでのコンサートにおいて、音楽を通じて皆様と我々がつながり、豊かな時間を共有できますことを心から願っています。

クレシミル・ストラジャンツ & 小川 加恵

Dear audience,

it is with special joy that we present to you a concert in these times when concerts are rare and when all of us are hoping and waiting for the situation in the world to fully stabilize again.

In these times when we are often more at a distance than together, what is better to connect and unite the world, but the universal language that all people on earth understand: music.

With the program that we have prepared for you for this concert, we have decided to choose the most beautiful and known compositions of the mid 19th century by Clara and Robert Schumann, Ludwig van Beethoven and Franz Schubert for fortepiano solo and the duo voice/fortepiano. The pieces were chosen by us, but also by our esteemed colleague musicians that have named their all-time favorite pieces.

We have also decided to perform them exactly the way they were performed in the time they were written, with an instrument built in the mid 19th century where the strings of the instrument are under a different tension than the modern instruments today.

We hope that you as the audience will appreciate the special warmth and colors that are unique to instruments from that era and that we seldom hear today. Our technology advances and we tend to forget some of the special moods that are sometimes gone with the technological advancements. For example, the times when we have used candles on our tables – when we do use them again, we might notice that they offer to us a special mood that the modern lamps today struggle to offer.

As to our collaboration in this project: who would have known, that decades ago, when we were children, one day two people from two different parts of the world would be united in a musical friendship that brings us together us and also teaches us how much all the people in the world have in common as human beings.

So, in hope that music will continue to connect us and enrich us, we wish you a nice concert here at the beautiful Salamanca Hall.

Krešimir Stražanac & Kae Ogawa

P R O G R A M

L. v. ベートーヴェン：
Ludwig van Beethoven (1770-1827):
アダライーデ Op.46
Adelaide Op.46

F. シューベルト：
Franz Schubert (1797-1828):
音楽に寄す D.547
An die Musik D.547

ミューズの子 D.764
Der Musensohn D.764

小人 D.771
Der Zwerg D.771

4つの即興曲 D.899よりOp.90-3 変ト長調 *フォルテピアノソロ
*Impromptu D.899 Op.90-3 *Fortepiano Solo*

夜と夢 D.827
Nacht und Träume D.827

『冬の旅』D.911よりOp.89-5「菩提樹」
“Der Lindenbaum” from Winterreise Op.89-5

憧れ D.636
Sehnsucht D.636

R. シューマン：
Robert Schumann (1810-1856):

『リーダークライス』より「わが苦悩の美しいゆりかご」Op.24-5
“Schöne Wiege meiner Leiden” from Liederkreis Op.24-5

C. シューマン：
Clara Wieck Schumann (1819-1896):

『音楽の夜会』より「ノットウルノ」Op.6-2 *フォルテピアノソロ
*“Notturmo” from Soirées musicales Op.6-2 *Fortepiano Solo*

R. シューマン：
Robert Schumann:

『ミルテの花』より「献呈」Op.25-1
“Widmung” from Myrthen Op.25-1

『ケルナーの詩による12の歌曲』より「静かな涙」Op.35-10
“Stille Thränen” from Zwölf Gedichte Op.35-10

F. シューベルト：
Franz Schubert:
魔王 D.328
Erlkönig D.328

P R O F I L E

Krešimir Strazanac

クレシミル・ストラザナツ

[オペラ歌手:バス・バリトン]



クロアチア出身。シュトゥットガルト音楽演劇大学で学び、数多くの国際コンクールで優勝。現在、世界で最も注目される若手歌手の1人である。2007～13年までチューリヒ歌劇場に所属し、現在はコレギウム・ヴォカールのソリストとして欧州各国で輝かしい活躍を見せている。

これまでにサンティ、フェドセーエフ、ハマー、シュナイダー、ハイティンク、フィリップ・ヘレヴェッヘなどの世界的指揮者やソプラノのチェチーリア・バルトリなどの歌手と共演。2012年にはプラシド・ドミンゴ指揮の『カルメン』においてモラレス役として出演。また欧州各地での歌曲コンサートも多数開催。これまでに「LaVoceコンクール」、「Cantilenaコンクール」、「Paula Salomon Lindbergコンクール」、「Hugo Wolfコンクール」優勝。「Belvedereコンクール」では全世界からの参加者約1300人の中の最も優秀な歌手(10人)に選ばれた。その他、CD、DVD等の録音、録画作品も多数リリースしている。

オフィシャルウェブサイト：<https://www.strazanac.com/index.php/en/>

Kae Ogawa

小川 加恵

[フォルテピアノ]



岐阜県出身。東京藝術大学、オランダ、デン・ハーグ王立音楽院修了。

第16回ファン・ワセナール国際コンクール(オランダ)第1位受賞。オリジナル楽器による「デンハーグピアノ五重奏団」(<http://denhaagpianoquinte.wix.com/denhaagpianoquintet>)を主宰し、ユトレヒト古楽音楽祭(オランダ)、バルセロナ古楽音楽祭(スペイン)、サント古楽音楽祭(フランス)、アントワープ古楽音楽祭(ベルギー)など、ヨーロッパの主要な古楽音楽祭に出演。日本国内においても各地の主要コンサートホールによる主催公演に多数出演する他、テレビ朝日「題名のない音楽会」やNHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」にてデンハーグピアノ五重奏団演奏会～古楽器で聴く19世紀の響き～が放送されるなど、メディアへの出演も多数。

オフィシャルウェブサイト：<https://kaeogawafphp.wixsite.com/mysite>

F O R T E P I A N O

Anton Schwardring

使用楽器:A.シュヴァルトリンク(1835年製)

1835年にプラハで製作され、ピアノ作りの中心であったウィーンの伝統が感じられる軽やかさと柔らかな東欧の薫りも感じられる。新しい機構としてこの頃から今日のグランドピアノと同様に底板が張られないようになり、響きにいっそう拡がりが生まれた。6オクターヴ半の音域を持ち、最低音から5鍵は鉄線の上に真鍮線を巻いて質量を大きくし、より強い張力で、重厚な低音を得ようとした。鍵盤のナチュラルキーの表面には真珠層を持つ貝が張られ、シャープキーには金箔が下地に張られ、その上にべっ甲がかぶせられている。

